

# 添付文書改訂のお知らせ

87-5  
昭和62年6月

## バクシダール錠100mg

製造元 杏林製薬株式会社  
販売元 杏林薬品株式会社

このたび弊社製品、**バクシダール錠100mg**につきまして、市販後使用成績の調査に基づき、「使用上の注意」の「副作用」の項目を一部改訂いたしますので、ご案内申し上げます。

( ……部:発現頻度を表す副詞\*の変更、 ——部:語句の追加 )

	新	旧
使用上の注意	(3)副作用	(3)副作用
	5) 消化器 ときに悪心・嘔吐、食欲不振、腹痛、下痢、また、まれに腹部膨満感、便秘、 <u>□内炎</u> 、 <u>□唇炎</u> 、 <u>□角炎</u> 等の症状があらわれることがある。	5) 消化器 ときに悪心・嘔吐、食欲不振、腹痛、腹部膨満感、下痢、また、まれに便秘、 <u>□唇炎</u> 、 <u>□角炎</u> 等の症状があらわれることがある。
	6) 血液 ときに好酸球増多、白血球減少、また、まれに赤血球減少、ヘモグロビン減少、 <u>血小板減少</u> があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止すること。	6) 血液 ときに好酸球増多、白血球減少、また、まれに赤血球減少、ヘモグロビン減少があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止すること。
7) その他 ときにめまい、また、まれに頭痛、不眠、全身倦怠感、しびれ感、冷感、熱感、浮腫、心悸亢進、胸痛があらわれることがある。	7) その他 ときにめまい、頭痛、また、まれに不眠、全身倦怠感、しびれ感、冷感、熱感、浮腫、心悸亢進、胸痛があらわれることがある。	

\* 副作用の発現頻度は「まれに」(0.1%未満)、「ときに」(0.1%~5%未満)、副詞なし(5%以上又は頻度不明)の3分類で表現されます。